

様式第5号（第7条関係）

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区内に24ヶ所の防犯カメラが設置されていた。
事業実施後の状況	新たに1ヶ所の防犯カメラを設置し、全25か所となった。
事業の効果	防犯カメラは犯罪被害の未然防止や犯罪の予防の有用性が認められている。地域の安全で安心な暮らしの実現を目指すために有効と考える。
今後の課題等	住民から交通事故の映像が写っていないか開示を求められ、応じないケースがあった。設置を増やしてほしいとの地域ニーズはあるが、映像の開示について、運用に課題があると考えます。

様式第5号（第7条関係）

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	令和2年度以降設置の4台の防犯カメラを管理している。
事業実施後の状況	新たに1台増えて、全5台となった。
事業の効果	-
今後の課題等	特になし。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	緊急通報装置管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	継続して緊急通報装置を管理している。
事業実施後の状況	-
事業の効果	小学校や中学校への主要な通学路にあり、安心感があるととともに犯罪の抑止効果が期待できる。
今後の課題等	いたずら防止や解除の仕方など、公園利用者や近隣マンション住民への周知が不十分であったために、近隣のマンション住民に注意事項説明の機会をつくった。今後もこうした機会を作ることを継続していくが必要である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[市実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	継続して本協議会事務所を管理している。
事業実施後の状況	同上。
事業の効果	事務所としての機能を発揮しているだけでなく、「五月丘まちづくりプラザ(通称まちプラ)」として、地域に開いている。
今後の課題等	共同利用施設五月丘会館内にあるため、閉館日に入館できず、本事務所として使用できなくなり、不便である。その他、複合機の更新が必要。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[地域実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	2019年8月に本協議会事務所を開設した。さらに2020年9月、本協議会事務所を、「五月丘まちづくりプラザ」(略称:まちプラ)として地域に開いた。
事業実施後の状況	まちプラは、地域住民が自由に立ち寄れるサロンとして、地域情報を掲示するまちの情報センターとして、また地域に関するご意見や相談事などを直接伝えることのできる相談所としての機能を有する。
事業の効果	開設して5年目となり、住民の貴重な声を直接聞くことができ、日常の身近な情報が寄せられている。
今後の課題等	地域の方の訪問が少なく、本来の目的であるまちの相談やまちの声を拾うことが十分達成できていない。住民への周知も含めて、まちプラの活用方法の検討が必要である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	コミュニティベンチ設置事業①（新規事業）
事業実施前の状況	五月丘地域内の公園は平地の公園が少なく、道路よりも高い位置にあり、階段でアプローチする必要がある。公園を毎日の散歩ルートとして利用する住民も多く、階段の上り下りで休息できるベンチが欲しいという要望を五月丘一丁目自治会さんから受けた。
事業実施後の状況	住民の散歩ルートの中に休息スペースを設けることで、より、散歩がしやすくなった。
事業の効果	住民の高齢化が進む中、本協議会では高齢者も元気に暮らせるまちを目指し、高齢者の健康増進に取り組んでいる。公園を利用しやすくなり、人との出会いや憩いの場所として活用されることが期待できる。
今後の課題等	維持管理しやすい材料を選択したが、今後の使い方には注意が必要。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の大会を支援する。開催時間を短縮し、午前のみ実施。接触型の競技を避けるなど感染対策に工夫を凝らしながら実施。
事業実施後の状況	令和5年度と同様に午前のみの実施とした。大縄跳びや綱引きなど、コロナ前の種目を復活させ、工夫しながら実施することができた。
事業の効果	子ども達から大人まで楽しく競技に参加できた大会となった。
今後の課題等	五月丘は少子化が進んでおり、子どもを含めた関係者の参加者が減少している。ターゲットを見直す時期にあると考える。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	コミュニティベンチ設置事業②（新規事業）
事業実施前の状況	五月丘地域内の公園は平地の公園が少なく、道路よりも高い位置にあり、階段でアプローチする必要がある。公園を毎日の散歩ルートとして利用する住民も多く、階段の上り下りで休息できるベンチが欲しいという要望を五月丘一丁目自治会さんから受けた。
事業実施後の状況	住民の散歩ルートの中に休息スペースを設けることで、より、散歩がしやすくなった。
事業の効果	住民の高齢化が進む中、本協議会では高齢者も元気に暮らせるまちを目指し、高齢者の健康増進に取り組んでいる。公園を利用しやすくなり、人との出会いや憩いの場所として活用されることが期待できる。
今後の課題等	上部緑地の高木が倒木しないように監視と剪定が必要である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業（継続事業）
事業実施前の状況	本協議会の活動内容を地域住民に周知するとともに、地域住民に必要な情報を発信するために、年に2回、まちづくり通信（広報誌）を発行し、全戸配布をしている。
事業実施後の状況	上記の通り。
事業の効果	本協議会の活動や地域での取り組みについて情報発信を行うとともに、地域で活動する他団体を紹介した。広報誌を見て、会員の募集や有償ボランティア募集への申し込みもあり、今後も地域住民に関心のある内容を検討していきたい。
今後の課題等	令和5年度から校正から完成までを外部委託している。しかし原稿を書いたり、写真を選んだり、委託先と調整できるメンバーが限られている。広報誌を作成できる人材の確保が課題である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域情報発信管理事業（新規事業）
事業実施前の状況	年に2回、まちづくり通信（広報誌）を発行し、全戸配布をしていた。
事業実施後の状況	LINEにより毎月、何回でも情報発信できる。イベントの中止や雨天時の別メニューでの開催通知など、今日明日の情報をタイミングよく発信できる。 またイベントへの参加応募やボランティア募集などにも活用できる。
事業の効果	LINEを通じて登録者（市民）が本協議会の活動やイベントに参加することができ、イベントに参加した感想や意見・要望などを直接伝えることができる。
今後の課題等	LINEの登録者数が伸び悩んでいる。これは発信頻度が原因と考える。しかし度重なる発信はメンバーの負担になり、悩みどころである。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域防災訓練強化事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘一丁目自治会自主防災・防犯隊と五月丘五丁目自主防災団と合同で防災訓練を実施。本協議会は自主防災組織のない地域住民の受け皿となる。
事業実施後の状況	令和6年度から春と秋の年2回開催とした。秋は自然災害が起きた後のことを想定した模擬訓練として、給水訓練と炊き出し訓練を行った。秋は春以上の参加人数となり、住民の防災への関心の高まりを感じた。
事業の効果	災害への備え、防災についての知識、そして災害に強いまちを目指し、地域住民が共助できる関係構築の重要性を学んだ。
今後の課題等	本校区は自治会の加入率が低く、自主防災組織がない地域に住む住民が多いことが特徴で、今後も本協議会が、災害に強いまちづくりに向けて地域の共助的役割を果たせるように活動していきたい。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域防災体制強化等事業（継続）
事業実施前の状況	指定一般避難所となる五月丘小学校に必要な防災備品をリストアップし、順次、購入している。
事業実施後の状況	炊き出しのための防災食調理備品と防災テントを購入した。
事業の効果	防災に対する事前の備えを進めている。
今後の課題等	今後も本協議会所有の防災備品を点検し、交換が必要な備品や不足している備品を整備していく。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	盆踊り大会支援事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の本大会を支援する。
事業実施後の状況	天候にも恵まれてたくさんの方が来場され、盛大なお祭りとなった。
事業の効果	本校区は地域イベントの少ない地域である。本大会は子どもからお年寄りまで楽しめる、地域にとって貴重なおまつりである。今後も支援を継続していく。
今後の課題等	スタッフの高齢化と暑さの影響もあり、設営が大変である。秦野地域コミュニティさんから「やぐら」をお借りするなど、設営の省力化を図った。今後も他地域とも連携した対策が必要と考える。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	五月丘フェスタ開催事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎年、五月丘小学校で実施している。内容はフリーマーケット、模擬店、スポーツゲーム、キッズコーナー、ステージ。
事業実施後の状況	今年度も地区福祉委員会さんが行うフードドライブに協力した。
事業の効果	本事業は、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるイベントで、地域住民が交流できる良い機会となっている。運営には地域で活動するほとんどの団体の協力を得て実施する、地域連携事業である。また地域の学校（五月丘小学校・渋谷中学校・渋谷高等学校）と連携していることも重要である。
今後の課題等	設営したテントが強風にあおられて飛んで、子どもに当たった。大きな怪我にはならなかったもののあってはならないことで、テントの風対策や当日の運営体制など、見直しが必要である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	コミュニティサロン設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月2回、コミュニティカフェ五月丘(C.C.S.)を開催している。
事業実施後の状況	同上(毎回20～30名程度参加)
事業の効果	2012年度から本事業を始めて12年となる。地域に認知され、地域の憩いのコミュニティカフェとして定着している。
今後の課題等	長く続けていると地域の利用者も高齢化し、お亡くなりになる方も年々増えている。同様にスタッフも高齢化し、スタッフの減少につながっている。 新しいお客さんを呼び込むしかけと展開が必要である。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	高齢者等の居場所づくり事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月第3日曜日に、「おしゃべり広場」を開催している。
事業実施後の状況	同上（毎回30～40名程度参加）
事業の効果	12月開催のクリスマス会には、毎年多くの地域の方が来場される。今年度は渋谷高等学校アコースティック音楽部の演奏会を始め、サンタクロース登場の他、ビンゴゲームなど、会場は大いに盛り上がり、楽しいクリスマス会となった。本協議会では地域の学校との連携に力を入れている。地域の学校に通う若い力を含めて、高齢化する地域を活気づけたいと考えている。
今後の課題等	スタッフの人員確保。本事業の立ち上げ時には、民生委員さんと地区福祉委員会さんの協力を得ていたが、協力者の高齢化に伴い、この協力を得にくくなっている。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域介護者支援事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘地域は高齢化が進んでおり、介護に不安を抱える方が増えている。そこで介護に関する知識や心得を学ぶ機会を提供するために、昨年度から介護教室を開催している。
事業実施後の状況	今年度は認知症について学んだ（約30名参加）。講師は認定ケアマネージャー、言語聴覚士、地域包括支援センターの職員にお願いした。
事業の効果	参加者アンケートの結果から満足度が高いことがわかった。
今後の課題等	地域のためには継続すべきという声があるものの、内容が専門的で本協議会メンバーにとって開催までの調整が負担であるという理由で、来年度は実施しないことを決定した。また、本協議会ではなく、本来、他団体がすべきではないのかという意見も強くあったことを報告する。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	子育て支援事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘に暮らす3歳以下の子どもをもつお母さんが親子で参加する「ほっとサロン」をNPO法人ママの働き方応援隊、ひだまり助産院の協力を得て開催。
事業実施後の状況	令和5年から地区福祉委員会さんの「子育てサロン」と合同で実施している。
事業の効果	地区福祉委員会さんに子ども達の遊びやお楽しみタイムなどを担当していただいたおかげで、お母さん達が「ほっと」できる時間となり、心を元気にすることができた。子育てやお母さん同士の情報交換・交流の場となった。
今後の課題等	五月丘地域は少子化が進んでおり、五月丘に暮らす3歳以下の子どもをもつお母さんを探すことが非常に難しい。対象を広げるなど見直しが必要と考える。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	交通安全看板設置事業（新規事業）
事業実施前の状況	通学路の飛び出し危険個所に設置している「飛び出しぼうや」が老朽化していた。
事業実施後の状況	老朽化していた10箇所の看板を付け替えた。
事業の効果	住民に危険個所を知らせるとともに、五月丘が安全安心なまちづくりに取り組んでいることを周知する効果がある。
今後の課題等	今回単年度事業であるが、今後も通学路等の交通安全対策には目を光らせていく。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	花プロジェクト事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘小学校の授業の一環として、また渋谷中学校のクラブ活動の一環として、年2回実施。
事業実施後の状況	(6月)小学校330株、中学校220株、花植えを実施。 (10月)小学校1,000株、中学校800株、プラグ苗移植を実施。 (12月)小学校及び中学校で出荷式を実施。校区内の自治会やしぶたに学園、池田五月山教会幼稚園、五月丘こども園、くすのき学園、五月丘郵便局、セブンイレブン五月丘店に花を配った。
事業の効果	学校で育てた花を地域の公共の場に植えて、街並みに花を添える。学校と地域が連携して緑豊かなまちづくりに取り組んでいる。
今後の課題等	前提として学校で子ども達が花を育てることになっているが、実態としては植えた後の世話を学校が行っており、子ども達は関与していない。出荷式もイベント化しており、小学校が本事業の主旨を理解していないことにも問題はあるが、事業の継続を見直す時期に来ている。

令和 7年 6月 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	イベント運営事業（継続事業）
事業実施前の状況	グラウンドゴルフ（年2回）、里山教室（年2回）、五月山ハイキング、卓球教室を開催。
事業実施後の状況	グラウンドゴルフ（6月（雨天中止）、11月（45名参加）、3月（43名参加））、里山教室（6月（30人参加）、11月（30人参加））、五月山ハイキング（1月（80名参加））、卓球教室（2月（43名参加））を開催。五月山ハイキングと卓球教室は、校区スポーツ振興会主催のイベントでこれを支援。
事業の効果	グラウンドゴルフ大会は、スポーツを通じた地域交流の機会としている。 里山教室は、五月山で間伐作業を体験し、子ども達に五月山の自然や里山の大切さを伝えた。
今後の課題等	6月開催の里山教室では、雨天のため雨プログラムでの開催となった。梅雨の時期でもあり、開催時期の検討が必要がある。